

第4回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会が

～ 高齢者医療の地域連携 ～をテーマに開催されました

地域医療連携・患者支援部

平成27年2月7日（土）、ホテルマイステイズ宇都宮において、自治医科大学附属病院主催、栃木県医師会・栃木県歯科医師会後援の「第4回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会」が開催されました。当日は、県内外の地域医療に関わる医師・歯科医師・看護師・その他医療技術系職員や連携業務に携わる方々に院内参加者を含め、143名の参加がありました。

安田病院長の開催挨拶に引き続き、総合診療内科 松村教授の司会で第1部講演会を開始しました。

初めに新小山市民病院 島田理事長が「高齢者高血圧症の降圧療法」と題して、高齢者や要介護者に対する降圧療法の意義について講演されました。次に同病院 川上副院長が「認知症の診断・治療・ケア」と題して、認知症の治療法、ケアのあり方など講演されました。続いて司会も努めた松村教授が「総合診療内科の高齢者入院患者の特徴」と題して、過去1年間の統計から見た患者の特徴を明らかにし、ケア・病診連携のあり方について講演されました。

第2部は、医療法人アスミス 太田理事長と地域医療センター 三瀬准教授を司会に「高齢者医療における地域医療連携・地域包括ケアを考える」と題し、各パネリストによる発表やパネルディスカッションを行いました。初めにつるかめ診療所 鶴岡先生より「在宅医療と地域連携」について発表がありました。次に腎臓内科 秋元准教授より「当科において透析導入を見送った高齢末期腎不全症例の実態」について発表がありました。続いて整形外科 安食准教授より「高齢者大腿骨近位部骨折における地域医療連携」について発表がありました。最後に歯科口腔外科 野口講師より「当科における高齢者の口腔がん治療後の地域医療連携・包括ケア」について発表がありました。

引き続き、地域の診療所(医科、歯科)の先生からのご意見や質問を中心にディスカッションを行い、高血圧、認知症等、講演内容についての質問も出されるなど、活発な意見交換が行われ、地域連携における医療関係者のあり方を再認識し、また当院への期待の大きさを再確認する場になりました。

最後に長田地域医療連携・患者支援部長から、来年度もこの研究会を開催したいとの力強いご発言があり、終了しました。

今後も時宜を得たテーマによる研究会を開催し、地域の医療関係機関との絆を強化し、大学病院の円滑な運営が図られるよう企画してまいりますので、院内の皆様のご協力をお願いいたします。

また、研究会終了後開催された懇親会では、各医療機能を有する機関で活躍されている方々のお話も交えて、職種を超えたコミュニケーションが取れ、地域連携の大きな輪が広がりました。



講演会



パネルディスカッション